家族会ほっとライン

家族を思う
あなたの気持ちが
日本を支えます

超高齢化社会への備え シニアの鉄人 第70回

遺言書はなぜ必要か！「付言事項とは何か」遺言・相続の専門家から（2）

遺言書はなぜ必要かと問われたらどう答えますか。

この問いの難しさはあなたの命のしまい方がテーマだからです。クイズの解答のように他人の作った答えの流用で終わりとはいきません。あなたの命と一生はゲーム感覚で扱えるほど軽くは無いからです。

親がいて子どもと孫がいる。一連のつながりのなかで次の世代に送るバトンタッチが相続です。ここに遺言書の役割があります。

それではこの問いへの答えを考えましょう。まずこの問いはあなたがあなたに問いかけたものとお考えください。まさに自問自答です。

このような手法を「感疑」（わくぎ）といいます。「ちょっと待てよ、この場合はどうなる」といった、自分が自分に対して発する疑問と回答です。

日本では江戸時代前からある思考の一つです。経験豊富な高齢者はこの「感疑」が得意です。

さて、ある「感疑」の達人が私に自分の遺言作成を、さらには探偵社に息子の素行調査を依頼しました。親の前では見せない子供の一面をつかむためです。

親業もここまで深堀するとすごいと感服しました。親の死で子供が豹変し、「相続」が「争族」にということは苦でよく聞く話です。

人の気持ちが豹変することがなければ、この世に離婚は1件もないはずです。生きている者同士ですら自分ではどうしようもないほど気持ちが変わる。まして や親の死によって、子供の気持ちが変わってしまうのも理解できます。探偵社を使っての素行調査までは極端ですが、遺言書の作成をお勧めするわけがここにあります。

このテーマを作品としたものにシェイクスピアのリア王があります。時代を超えた全世界共通の不変のテーマです。冒頭の質問に対する答えは人の数だけあり、どれが正解というものはないはずです。

これがクイズ番組の解答方法と「感疑」の根本的な違いです。

次にどういう心境になれば遺言を書けるのかを考えましょう。人が死を怖く感じるのは、死後どうなるかをよく知らないから。死に対する最大の恐怖はこれです。死ねば何もなくなるという人もいますが、われわれはその絶対無というものを体験せずにこれまで生きています。

死を恐れる2番目の理由は自分の死で子供たちになにが起きても自分はどうすることもできないという恐怖です。

これは遺言書を作れば解決します。自分の死後も遺族に法的効力を及ぼしてその混乱を回避できるからです。これを理解した方が遺言書を作ります。

遺言書作成過程で自分の死で子供の心に何が生じるかの推測にも「感疑」を使います。

まず自分の死後をリアルに自問自答でつかむこと。子供たちはもめないといった楽観的な思い込みはいったん外しましょう。

これには体力と気力が必要です。遺言書作成は体力気力のあるうちでないと大変しんどくなります。

また遺言書の最後にどのような目的でこの遺言を作ったかを書きます。これが「付言事項」です。「付言事項」をしっかりと書いて、遺言書を仕上げます。

例えば、相続人の中に生涯介護の必要なハンデのある子供がいたとして、全遺産をそこの子供に使え、他の相続人全員で生涯その子供を支えろと「付言事項」に書き、全相続人がその内容に従えば、例え1人に相続財産を集中させても相続争いは生じません。

これが遺言書効果です。「付言事項」の注意点は、付言に書いたものに法的効力がないことですが、相続人の心を動かせる筆力があれば絶大な力を発揮します。

最後に遺言書作成は熟慮に熟慮を重ねて作成してください。

たまに延命治療不要と書いた遺言書を見ますが、死ぬ前の延命治療云々を書いても死後に読まれるのが遺言ですから、あまりお勧めできません。

思い付きレベルで作る遺言はしばしば問題を起こします。

相続手続き完了後3年目に遺言書に配載漏れの不動産が見つかって大騒動に。こうしたことはよくあります。

この記事を読んで本格的な遺言を作りたいと思った方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。私は自衛隊隊員とその家族の遺言アドバイザーです。

事務所の二次元コード

「筆者紹介」
柴田　純一（じゅんいち）
73歳　遺言相続特化の東京都行政書士会所属の行政書士
全国自衛隊家族会賛助会員・東京都板橋区防衛協会常任理事
（公社）自衛隊家族会防衛情報紙『おやばと』に2012年より登場し、陸・海・空自衛官とその家族の遺言アドバイザーとして、自衛隊隊員の相続の不安を解消し職務にまい進できる環境作りに専念。
遺言相続専門特化の行政書士事務所「柴田法務会計事務所」代表。
銀行員時代からシニア対策として、相続対策と公的年金対策に特化し現在に至る。遺言・相続の仕事は今年で34年目の大ベテランでもある。

神奈川

潜水艦救難艦「ちよだ」を見学・研修
質問が相次ぎ、大変熱気あふれる研修に

参加者全員で集合写真

神奈川県自衛隊家族会（中条祐介会長）は4月18日、同副会長以下40人により、船越岸壁で海上自衛隊潜水艦救難艦「ちよだ」を見学・研修しました。

潜水艦救難艦は、遭難した潜水艦から乗員を救出することを主任務とし、横須賀地区および呉地区にそれぞれ1隻ずつ配備されている艦艇です。

研修は、艦内における火災や浸水などの発生時に対応する応急工作部門および、深海救助艇を操作する操縦士や同潜水艇に搭乗し、直接潜水艦乗員を救助する飽和潜水員などの救助部門について、それぞれ使用機材を交えた詳しい説明を受けました。また、艦橋の中にも案内していただきました。

潜水艦救難艦という希少な存在ということもあり、研修者からは質問が相次ぎ、大変熱気あふれる研修となりました。説明を受ける中で、同艦は要請により民間船に対しても対応を求められる場合があるとのことで、常時、緊急出動に備えなければならない乗員の皆さんの高い練度と精神力に改めて敬意を払いたいと思いました。

潜水艦救難艦は、戦闘艦艇のように派手さはなく、普段はほとんど一般には知られることはない存在ですが、同艦は海自にとっても海洋救難の一角を支える大変重要な存在であることを本研修を通じて深く認識しました。

最後に、今回の素晴らしい研修をサポートしていただいた神奈川地方連絡本部の広報官、そして基地の入門手続きを始め、案内など細部に対応していただいた横須賀地方総監部の広報担当者の皆さんに感謝いたします。

「ちよだ」の研修を終えた有志27人は汐入方面へ移動し、横須賀ご当地グルメである自衛隊カレーでお腹を満たし、軍港クルーズにて今度は海の上から横須賀基地や停泊中の艦船を見学し、普段直接顔を合わせる機会が少ない会員同士の交流の場を持ちました。

当日は午後から降雨の予報となっており、実施が危ぶまれましたが何とかクルーズ終了まで雨に降られることなく戻って来られました。護衛艦の近くをクルーズ船が通過する際には上甲板で仕事中の隊員の皆さんも大きく手を振ってわれわれを歓迎してくれているようでした。

また、その中にご自分のお子さんらしき人影を見つけたお母さまは大興奮の様子で、今日の研修の機会を大変喜んでいました。

遠目からではありますが、お子さまの仕事をする姿を見て感動されるお母さまの様子に、今日の研修を企画準備させていただいた事務局員としても心和む思いで大変喜ばしく思い、このような機会をより多くの方に提供できたらと思っています。

（神奈川県自衛隊家族会　理事　水谷　宗之）

大阪

情報の提供に関する協定書を締結
全国でも少なく近畿2府4県では初

大阪地本と締結

4月24日、大阪地方協力本部長（深草貴信陸将補）と大阪府自衛隊家族会（松永信夫会長）は「入隊・入校確定者情報の提供に関する協定書」に調印し締結いたしました。

全国でもまだ締結した家族会は少なく近畿2府4県では初であります。

今までは、毎年の入隊・入校予定者激励会の際に来場者のご家族に家族会入会案内アンケートという形で情報を得るしかありませんでしたが、これからは激励会などにかかわらずに、ご家族の承諾を得られた方の情報を提供していただけるようになりました。

広報官の方々にはお手数をお掛けし、申し訳ありませんが、ご協力よろしくお願いいたします。

これまでは会勢増勢どころか会員数を微減にとどめるのがやっとでしたが、今後は地本の皆さま方の協力を得て、協定書締結を機会に反転攻勢に転じられればと思っております。

（大阪府自衛隊家族会　会長　松永　信夫）

鹿児島

うがみんしょうらん（ありがとう）奄美大島
奄美大島にある陸・海・空自衛隊を研修

奄美駐屯地司令を囲んで

鹿児島県家族会理事12人は、2月27日と28日の両日に、奄美大島所在自衛隊の見学および激励と自衛隊家族会各地区会との意見交換および懇親を目的に、奄美大島にある陸・海・空自衛隊を研修・激励しました。

奄美大島は鹿児島から南へ約400Km、沖縄との中間に位置し民航機で約1時間の東シナ海に浮かぶ世界遺産の島です。搭乗予定の1便が欠航となりましたが、約2時間遅れで奄美空港に到着。2台のレンタカーに分乗し、まずは創立5周年を迎えたばかりの奄美駐屯地に向かいました。

長谷川駐屯地司令の出迎えを受け、司令自らのブリーフィングでは、南西諸島の防衛体制上の活動拠点としての機能を有し、瀬戸内分屯地とともに抑止力として約700人の全国出身の隊員が南西諸島防衛の任務に精励されていることに感謝で胸がいっぱいになりました。

夜は、奄美駐屯地の長谷川司令、空自奄美大島分屯基地の高橋司令、鹿児島地本奄美駐在員事務所の皆さんの他、奄美大島各家族会の皆さんとの交流のため懇親会を開きました。黒糖焼酎を飲みながら、奄美三味線と太鼓演奏を拝聴し、大変盛り上がりました。

翌28日は陸自瀬戸内分屯地、海自奄美基地分遣隊、最後に空自奄美大島分屯基地を研修するとともに激励を行いました。

各駐屯地、基地ともに、離島ならではの苦労がある中で創意工夫をし、地域の皆さんと交流を深めながら日頃の訓練や業務に励んでおられることが理解でき、大変有意義な研修でした。

奄美大島所在の陸・海・空自衛隊が益々発展されること、隊員の皆さんがご健勝であることを祈りながら帰途につきました。

（鹿児島県家族会　副会長　松崎　哲也）

札幌

令和6年度定期総会を開催
札幌地方隊友会と合同による懇親会を開催

札幌自衛隊家族会（森本隆志会長）は4月13日、会員59人および札幌地方協力本部から4人、計63人が参加し、令和6年度定期総会を開催しました。

定期総会では6件審議され、全件可決されました。

審議終了後、札幌地本長（栗田昌彦1等陸佐）により「我が国を取り巻く安全保障環境と防衛省・自衛隊の取り組み」と題して防衛講話が行われ、聴講した家族会会員は、わかりやすい地本長の講話に防衛意識がさらに啓発できました。

その後、札幌地方隊友会と合同による懇親会を開催しました。同じ方向性のある組織であり、お互いの組織で会員数が減少している現状を踏まえ、合同での実施はさらなる相乗効果があるものと期待し、初めて開催しました。懇親会には、隊友会・家族会会員、11旅団長以下多くの現職自衛官、鈴木直道道知事、現職国会議員7人など計242人が参加し、家族会としては想像をはるかに超える規模となりました。

さらに配席は、隊友会・家族会・札幌地本地域事務所の方々を同一地域同テーブルとしたことで会話も弾み、とても和やかな雰囲気で相互の連携がさらに強化できたと思います。また、隊友会・家族会の連携がさらに強化できたと思います。

鈴木道知事を囲んで

高知

西部方面総監部、第8師団を研修
十和地区会、大正地区会の合同研修旅行

青木8師団長を囲んで

高知県自衛隊家族会十和地区会（門脇清厚支部長）および大正地区会（小野川隆彦支部長）の両支部は、毎年、部隊研修を合同で実施しています。今回は、2月7日夜半から9日の間、車中泊を行いながら、陸上自衛隊西部方面総監部、第8師団司令部および高遊原分屯地の研修を実施しました。

「わが目で部隊を見よ。わが身で部隊の風を感じよ」を合言葉に両支部会員および協力者合わせて22人が参加しました。

陸上自衛隊西部方面総監部では、装備品展示室の見学を行い、第8師団司令部では師団の沿革などについて説明を受けた後、第8師団長（青木伸一陸将）のお取り計らいにより、任務遂行中に沖縄において殉職された高知県出身の前師団長をはじめ、亡くなられた方々の慰霊に対し、参加者一同献花を行うことができました。

青木師団長、清田副師団長および幕僚の皆さまと昼食を共にし、その後施設内の展示装備品の見学や記念写真撮影を行うなど、貴重な体験をさせていただきました。

また、高遊原分屯地においても、基地の概要説明や施設の見学をし、研修終了後は青木師団長をはじめ幕僚の皆さんと親睦会を行いました。

今回の研修で日々の訓練や施設・装備の管理運営に対する自衛官の皆さんの真摯な姿勢や努力を見ることができ、わが国の国防にとって第8師団の重要性を参加者一同が改めて感じました。

第8師団の皆さんには、このような貴重な機会を与えていただきましたこと、心から感謝を申し上げ結びといたします。

（高知県自衛隊家族会　副会長　小野川　益善）

伊丹（兵庫県）

創隊31周年記念行事に参加
連隊長感謝状贈呈式に立ち合い

感謝状贈呈式

伊丹自衛隊家族会（高木清志会長）は4月21日、第3後方支援連隊（連隊長・佐藤敦茂1等陸佐）創隊31周年記念行事に招待され、会長と副会長兼女性部部長の2人で出席しました。

まず、記念式典前に連隊長感謝状贈呈式が連隊長室で行われました。

当会の元会員で伊丹自衛隊家族会歌の作詞者にして第3後方支援連隊最年長OBの園子さん（99歳）と、日頃から当会にご支援いただいています小野さんに感謝状が授与され、私たちも記念写真に一緒に納まらせていただきました。

式典、観閲部隊紹介は千僧駐屯地体育館で挙行され、記念式典後に模擬戦闘、模擬衛生隊戦闘現場対処の訓練展示がありました。

その後、近くの冠婚葬祭場に会場を移して約200人参加の記念会食会が行われました。

記念会食場ではたくさんの部隊長や防衛諸団体の方々と貴重な意見交換ができました。

第3後方支援連隊は能登半島地震の発災時から今に至るまでずっと災害派遣活動に当たっており、災害派遣活動内容がビデオで細かく紹介され、出席者全員が感謝の気持ちを抑えきれませんでした。

伊丹自衛隊家族会は今後も引き続き自衛隊、自衛官を応援していきます。

（伊丹自衛隊家族会　副会長兼女性部部長　豊田　幸子）

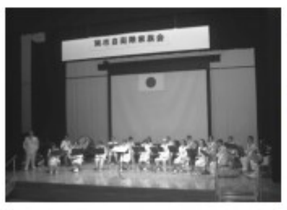
関（岐阜県）

総会後、ミニコンサートを開催
会員を含む聴衆約300人は拍手喝采

関自衛隊家族会（矢島周作会長）は5月19日「わかくさ・プラザ」多目的ホールで令和6年度総会を開催しました。

総会終了後、県議、市長、市議に列席いただき、国歌「君が代」斉唱後、関市消防音楽隊によるミニコンサートを開催しました。

最初の曲は航空自衛隊創設60周年を記念して作曲された「風薫る」でした。航空自衛隊が60年間守り続けてきた日本の空と、その空を悠々と飛ぶ航空機がイメージできるオープニングにふさわしい素晴らしい演奏でした。次に、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」のテーマ音楽である「スタンドアローン」の演奏では、消防音楽隊では大変珍しいソプラノ独唱があり、会場の観客を魅了しました。


関市消防音楽隊の演奏

その他「陸軍分列行進曲」や行進曲「軍艦」の演奏もあり、会場は大いに盛り上がり、会員を含む聴衆約300人は関市消防音楽隊に拍手喝采を送りました。

アンコールでは「宇宙戦艦ヤマト」の主題歌が演奏され「誰かがこれをやらねばならぬ　期待の人が俺ならば」という歌詞に囲んで演奏します」というMCに胸が熱くなりました。

次回はさらに多くの人に参加いただき、自衛隊への理解、新規隊員獲得につなげたいと考えています。

（関自衛隊家族会　副会長　平林　保則）

ひとりで悩まずご相談下さい！

自衛隊家族会は
★決して会員をひとりにはしません！
★いつもそばにおります！
★解決に向けてみんなで汗をかきます！

まず、近くの会員へ。お気軽に「問い合わせ窓口」へ。

1　「問い合わせ窓口」への問い合わせ先・要領

自衛隊家族会事務局（担当）　髙橋　隆志（たかはし　たかし）
◇電　話：03－5227－2468　（平日 09:00～17:00）
◇メール：jkazokukai@jkazokukai.orljp　（　同　上　）

「総括相談員」　宮下　寿広（みやした　としひろ）
◇番　号：080－4630－8987　（全日 09:00～20:00）

○ 問い合わせ者は、まず「氏名（匿名可）」「所属家族会（部隊等）」など述べた後に、必要な「問い合わせ」を実施して下さい。不在時には「相談員」から電話しますので、事前に「非通知設定」の解除をお願いします。
○ 下記の「相談員」を指名したい場合は、「相談員」を指名し、連絡先（電話番号かメールアドレス）を告げて下さい。メールの場合は、その旨記載して送信して下さい。のちほど、各「相談員」から連絡します。
○ ご不明な点は、髙橋までご連絡下さい。

2　問い合わせ　「相談員」

役職・氏名	担当内容
家族会副会長(陸自OB)　宮下　寿広	◇家族(隊員)に関する問い合わせ（主に陸上自衛隊）
家族会理事(陸自OB)　宗像　久男(むなかた　ひさお)	◇家族会全般に関する問い合わせ
家族会理事(海自OB)　銀治　雅和(かじ　まさかず)	◇家族(隊員)に関する問い合わせ（主に海上自衛隊）
家族会運営委員(空自OB)　荒木　淳一(あらき　じゅんいち)	◇家族(隊員)に関する問い合わせ（主に航空自衛隊）
家族会事務局員　髙橋　隆志	◇家族会の管理に関する問い合わせ

相談無料！　個人情報・秘密厳守！　問題解決実績多数！

秘密厳守　隊員及び家族の皆様の
遺言アドバイザー

柴田純一
行政書士

（遺言・相続 専門）
遺言書がなく揉める相続。揉めたら全員が敗者です。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。

遺言書は、家族の絆の証明書!!

行政書士　柴田法務会計事務所
〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13 受付時間／10:00～18:00
TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409
E-mail／info@yuigonsyo.biz　https://yuigonsyo.biz

解答
数字　頭の体操㉑

答　70度

解説
長針は、1時間で1周するので、1分間では360度÷60分＝6度／分　進みます。
短針は、12時間で1周するので、1分間では360度÷720分＝0.5度／分　進みます。
よって、6時ちょうどから長針は6度×20分＝120度、短針は0.5度／分×20分＝10度　進みます。
また、時計の目盛りは「4」と「6」の間は360度÷12×2＝60度
ゆえに　10度＋60度＝70度

（問題は4面に）